

自動車整備人材確保・育成活動における名取市立第二中学校主催
「中学生のための仕事博覧会」への参加について

宮城運輸支局検査整備保安部門

令和 6 年 10 月 25 日(金)に名取市立第二中学校が主催する「中学生のための仕事博覧会」に、自動車関係団体及び宮城運輸支局で構成する宮城県自動車整備人材確保・育成連絡会（事務局：宮城県自動車整備振興会）として参加してきました。

名取市立第二中学校では、全国で唯一の取り組みとして 8 年前から仕事博覧会を開催（コロナ禍により 2 年間中止）しており、県内の各企業・団体が一堂に会し、「仕事」や「働く」ことを中学一年生の生徒さんに向けて解説している取り組みです。

開催当初は 10 事業者程度であった参加企業も 6 回目を重ねる今回では 33 事業者の企業・団体が参加するほどになり、他校の先生が見学に来るなど、先進的な取り組みとして注目されております。



宮城県自動車整備人材確保・育成連絡会では、「自動車整備士の仕事」を題材に、宮城県自動車整備振興会が主体となり自動車整備工場・整備士の役割や資格の取り方などを説明いたしました。

一年生の生徒さん約 130 名は、4～5 名の班に分かれ、各教室に設けられた 33 事業者のブースを 6 枠選んで巡るスタイルでしたが、自動車整備のブースには合計 25 名の生徒さんか来てくれました。



そもそも自動車に触れる機会が少ない中学生にとって、「自動車整備士ってどんな仕事？」は率直な疑問であり、生徒さんからは「整備士のやりがい」や「大変だった修理」、「取った資格で仕事内容が変わるのか」などの質問が寄せられました。

約半数が女子生徒さんでしたが、女子生徒さんからもやりがいについて質問が上がるなど、興味を持つきっかけになったのではと感じています。

宮城運輸支局としても、自動車整備士の人材確保・育成は喫緊の課題として最重要視しており、毎年実施している高校訪問などの機会を捉えて青年層に PR をしているところですが、小中高生などのより若年層に向けてのきっかけ作りがもっと大切だと認識しております。

引き続き、興味を持ってもらえるチャンスを逃さず様々な取り組みを構築していきたいと思っております。